柏市広報

昭和33年2月25日発行　第27号

編集発行　柏市秘書企画課
印刷所　浜田印刷所

気を新たに　大いに働こう

お互に人間は、もともと働くようにできていますそして働くということは、人間の一つの大きな生き甲斐なのです。まして新しい年を迎えて、思いも新たに、今年こそはと強い希望に燃えるとき、誰もが何にもまさる大きな生き甲斐を感じることでしょう。そこに新年のよさがあり明るさがあります。もつとも、わが国の今年の経済の歩みは、なかなか楽観をゆるさないようです。年が変つても、昨年末からの経済沈滞の気配は大して変わりもないようです。だから何となく重苦しい様子です

しかし、こんな時にこそお互にこの沈滞した気配を吹きとばすくらいの意気ごみで、明るく積極的に、懸命に働かねばならないと思うのです。それが今年の私達の生き甲斐です。心がまえです。本年はお互に大いに働かねばならない年だと思います。

（PHPより）

火事が起きたら一一九番へ
常設消防二月に発足

私達人間が他の動物と違うことの一つは、火を利用するということです。人間が火を利用しなかつたら他の動物と大差がなくなつてしまいます。この火がなくては一日も生活ができないばかりか文化の発達も考えられません。実に火は人類の生活にとつて最も大切でありますがこの大切な火を知り正しく取扱つているでしようか。現実は火の取扱を誤り、又は不注意によつて火災を起していることは毎日のラジオや新聞紙上などによつてマスコミニュケーションされるばかりでなく身近でも体験している現状です。年々歳々火災によつて貴重な人命が失われ、又巨額の富が灰となつていることは、まことに勿体ないことであります。

そこで、この火災を予防し、警戒し鎮圧するために消防の制度がしかれ、その責任の所在がはつきりしたのです。

すなはち、消防は消防団や消防署の消防隊の力、器具機械、水利、通信この他の施設を活用して国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに水火災又は地震等の災害による被害を軽くし、安寧秩序を維持し、社会公共の福祉の増進のために努力するという責任があります。しかし社会科学の進歩発展は、火災を複雑化し、その防止の方法も、いろいろ数多くあるので消防の技術は会得し難く、消防の職司にあるものはよく諸般の事項を常に研究し、如何なる事態にも対応し得る実力の培養に努めなければなりません。

こんど本市に消防署が新設されたのも、これらの地方的要求に基き、消防力の強化を図るためにほかなりません。すなはち消防署では常に望楼や通信や受付勤務などに服し出場等の有事即応の態勢を固めているのでありますが、何分にもスタートしたばかりであるので、市民の皆様の御後援御指導の程を切望する次第であります。

平面図

以上のことがらを結論的に申しますと消防の目的は、

第一に火事を出さないこと

第二に火事は初期のうちに消火すること

等三に大火事には絶対させないこと

の三点に焦点がしぼられます。つまり消防器具機械、通信施設等の問題も、このことに焦点をあわせて施策されねばなりません。

そして飛躍的に発展を遂げつゝある柏市を火災から護り、住みよい柏市建設に向つて邁進することこそ消防人に与えられた使命です尚この際、市民の皆様に御協力をお願い致したいことは、萬一にも火事が起きたら

第一に一一九番へ通報（ところ番地目標ははつきりと）

第二にみんなで協力初期消火（大声で鳴りものなどを利用し近所に知らせ注水する）

を忘れず実施して被害を最少限度に食い止めるようお願いします。

最後に火災の原因には

イ　落雷

ロ　化学的変化等による自然発火

ハ　火気使用者の不注意

ニ　放火による人為的原因等

がありますが、過去に於ける火災の原因はこのうち、火気使用者の不注意によるもの、すなはち、失火が九〇パーセント以上を占めていることが、国家消防庁の統計の示すところであるので、全市民の皆さんが火の用心することによつて大部分の火災を防止することの出来ることを銘記して下さるよう希望いたします。

私達消防団と消防署とは、隊員一同相提携しながら、旺盛な消防精神と郷土愛の熱意とをもつて災害から柏市を護るでしよう。

（消　二一・鈴木記）

凸版は近く完成する消防署平面図

柏市発展のすがた
――自動改式にあたり――

柏市長　鈴木悦三

市制施行以前の柏町当時二回にわたり、電話の自動改式を関係当局に陳情いたし、その後五年、こゝに近代的な庁舎を持つた電報電話局の新設と同時に市内の電話全部が自動式となつた事は、全市民が最も喜びを持ち、更にこの日が一日も早く来ることを誰しも願んでいたことと思います。合併後は旧柏町、旧富勢村が柏局、旧田中村が田中局、旧土村が増尾局、更に旧小金町に属する光ケ丘地域が小金局であつて、一行政区域内が四つの電話局へ分れて居り、市内にあつても通話に要する時間が半日を超える事が少なくなかつたのであります。合併当時策定した新市建設計画の中に、国への要望事項として電話局の統合を先ず要望し関係当局へ提出、再三再四の陳情は、今考えると何枚の地図を書き、何人の人にどの位説明したかその数は示しきれないものであります。ここに自動改式となり電報電話局の新設と同時に四つの電報電話局が統合された事は関係者の努力に対し深く御礼申上げる次第であります。

柏市の発展は皆様既に御承知の通り、人口の増加は、その伸張率に於て県下のどの市にも類を示していないものでありますこれは首都東京都の近効にあり立地条件は住宅適地として備わつているからです。市制施行当時の人口は四万三千余であり、三年後の現在は五万五千に近い数を示しております。人口の増加はその都市の発展を意味しており今後に於ても柏の飛躍振りは大いに期待出来るものと考えております。

ここに柏の発展を遅少に考え、今回の電話の改式は加入者数千二百の準備をなし発足したのでありますが、加入希望者の激増は予想以上となり、その為五百戸の増設が自動改式前に確定されており近くこれも実現されることと思いました。（柏の通信施設の進歩も当然の事でありましよう。更に近く増設をみる電話も柏の発展からみて当然の事でありましよう。然し当然の事と言えどもこれらの為の関係者の努力と御協力は真に敬服致すものであります。

これを機会に、また利用者として電話を通じての利便を大いに持たれ大切な時間を有益に使われるように望んで止みません。

（写真は一月十九日の記念通話のスナップ）

市議会だより

本年第一回臨時市議会は一月二十三日、午後一時二十二分より開会され、会期五日、会議録署名議員二名を決定後、直ちに一、昭和三十一年度一般会計並に特別会計（五会計）決算の認定二、水道配水池の設置についての二議案が上提され、提案趣旨説明終了後、決算については、特別委員会を設置してこれに付託して審査することとし、委員会を設置して第一日を散会した。

第二日目の二十四日には午後一時五十七分より再開、直ちに上程議案に対する質疑を行い、決算については特別委員会へ、配水池設置に関する議案は建設委員会へそれぞれ付託し、二十五日（委員会）二十六日を休会と決定して散会。

第五日目の二十七日は午後一時三十五分より再開、直ちに決算特別委員長及び建設委員長より審査の結果報告があり、質疑の後それぞれ原案を可決し、午後三時三分閉会した。

なお、決算に附随した税調定額再調査については、更に調査を必要とするため、次の定例会までに報告を求めることとした。

第四回定例市議会報告

昭和三十二年第四回定例市議会は三十二年十二月十二日午後一時二十分より開会され、会期五日を決定後、直ちに鈴木市長、川本教育長より市政一般報告を受け、一旦休けい後一般質問を行い、午後五時二十分散会。

第二日（十三日）は午後一時二十分より再開、直ちに議案を上程し、提案趣旨の説明、質疑を行つた後それぞれ関係常任委員会に付託、或いは即時議決し、更に十四日（委員会）十五日を休会決定の上、午後五時二十六分散会した。

なお、全議会に提案された議案は、条例の改正等二十三議案。

第五日目の十六日は午後一時二十五分より再開し、去る九月定例会において、総務委員会に付託され以後継続審議となつていた消防署の敷地取得について、市理事者より議案の撤回方申し入れがあり、承認後関連した二議案を追加上程説明質疑の後直ちに可決。続いて委員会付託議案について、それぞれ関係常任委員長より審査の結果が報告され、それぞれ原案通り可決及び採託された。

なお二議案を継続審議一議案を不採択とし午後三時四十七分定例市議会を閉会した。

広報二月の歴史

★1日　観音崎燈台にはじめて点火（1864年）

「喜びも悲しみも幾年月」でなじみの深いこの燈台は、日本ではじめての西洋式燈台。イギリス人グラントの設計。

★8日　日本で最古の新聞が出た。（1872年）

いまある新聞で最も古いのは、明治5年のこの日に発行された「東京日々新聞」である。内容は政府の意向を国民に伝えることを主としていた。

★13日　国民すべてが名字をつけるようになつた。（1875年）

明治以前は武士、名主階級以上でなければ名字帯刀を許されなかつた。一般国民は「源兵衛」とか「太郎吉」という名だけであつたのが、この年、名字をつけることを許された。

★14日　はじめて全国の人口調査をした。（1768年）

徳川時代の人口は1846年に2,694万、明治の1872年が3,300万、昭和15年は最高の9,200万になつた。

★20日　衆議院議員の最初の普通選挙を実施した。（1928年）

これまでの税金の額によつて選挙権が制限されていたのを撤廃した。このころは人事興信録などにも「国税納付額×円」などと記していた。貴族院（今の参議院）には多額納税議員というのがあつた

2月の納税は…固定資産税　都市計画税　の第4期

納税者の皆様税金は納期限におくれないように納めましよう。

税金をためると納めにくくなり　滞納のもとになります。

税金はその都度納めましよう。

市財政状況の公表

昭和32年4月1日～昭和32年9月30日

事業費に二千七百万円支出

支出済額の三一・七パーセント

合併後四年目を迎え、本市は人口五万を超える都市となり財政規模も、人口増加とあいまつて急速に膨張し、合併当時の一億二千万円より、二億円を超える額をみております。又人口は、東京都の衛星都市として、日本住宅公団による住宅の建設、その他関連住宅、一般住宅の建設等によつて県下最高の人口増加の状況を示しております。これに伴い学校施設の整備拡充、道路の新設改良、上水道の推進等、市の財政は事業費の増加、行政費、

〈の増加により、三十年度迄はみなかつた赤字を、三十一年度決算においては、四五〇万円ほどだしてしまいましたが、現在の財政規模からすれば無理もないことであります。

市の財政の健全な運営は、市民の有害につながるものであります。どうぞ、この公表書を通じて、市民の皆様に市財政を認識していただき、文化都市建設のため、御協力と御理解を心からお願い致します。

柏市告示第55号

柏市財政状況の公表書

地方自治法第244条第1項及び柏市財政状況に関する条例の定めるところにより昭和32年4月1日より昭和32年9月30日までの財政状況及び今後の財政方針並びに昭和33年度決算の状況を次の通り公表する

昭和32年12月27日

柏市長　鈴木悦三

一般会計

収入支出の概要

(イ)予算について

当初予算を前年度当初予算と比較いたしますと一〇%の一千八百八二万九千円増加しました。構成についてみますと、才入においては、市税が五三・八%、地方交付税が一七・三%となり、これにおいては、国庫支出金、市債の順序となつております。才出においては、教育費の二五・四%、土木費の一九・二%、庁費の一六・二%、社会労働施設費の一一・一%、諸支出金、消防費、保健衛生費、産業経済費の順となつております。

当初予算の経費別内訳はつぎのとおりです。

人件費　五、〇六九万八千円
物件費　三、三五五万三千円
投資的経費　七、六五六万三千円
公債費　六、二五万六千円
その他　三、三六一万五千円

才一即道路整備計画ドロップ購入、才三小建築費、校地購入費、市営住宅用の国有地払下等三百五十一万円の増額、才二項道路整備費、才二項河川改修費、才二項都市計画費、才二項公園費、才二項下水道費、才三項生活保護費、才四項保健所費、才四項清掃費、才四項土木費、才四項教育費、才四項社会教育費、才四項保育所費、才四項社会福祉費、才四項老人福祉費、才四項母子福祉費、才四項国民健康保険費、才四項国民年金費、才四項生活改善費、才四項農業費、才四項商工費、才四項観光費、才四項住宅費、才四項都市計画費、才四項公園費、才四項下水道費、才四項消防

成人としての門出を祝して

一月十五日 柏中学講堂で成人式

新しく大人になつた方々をお祝いする成人式は、一月十五日に柏中学校で開かれました。今年の該当者は昭和十二年一月十六日から十三年一月十五日までの間に生れた一、〇七〇名の方々で、戦争の間に幼少の時代を送り、戦後の学校教育を受けた人達でした。

当日は、肌寒い雨降りでしたが、市内各地から約三〇〇名の新成人が出席して、柏市の若い力と「はたち」の決意が感じられました。

式は、教育長の式辞に始まり市長の祝辞、来賓の祝辞があつた後、出席代表者の原島ミツ子さんが今後の決意を物語る答辞を述べて閉会いたしました。その後、読売新聞論説委員樋口弘基さんの「成人した青年諸君のために」と題する講演があり、感激と緊張の記念行事を終りました。

なお、出席者には、記念品として成人手帳が贈られましたが一生の生活記録のために活用されるよう主催者では要望しております

アンケート「はたちの声」

成人式と並行して、今年の該当者全員に、アンケート「はたちの声」と感想文の募集を行いました感想文は、審査の後発表いたしますが、アンケートの大体の集計結果を報告いたします。（回答総数一七六）

①あなたは現在の職業についてどう思いますか。
(イ)将来も続ける　五五、(ロ)続けない　二九、(ハ)わからない　二八、(ニ)無記入　六四

②あなたがふだん暮しの「目あて」にしているのはどれですか。
(イ)まじめに働いてせめて暮しだけは困らないようにする　六三
(ロ)まじめに働いたり、勉強して社会的に立派な人になる　四八
(ハ)金や名誉を考えず自分の趣味に合つた暮しをする　二九
(ニ)世間の人はどうあつても自分だけは正しく暮す　一四
(ホ)その日その日をのん気にくよくよしないで暮す　一二
(ヘ)自分のことは考えず社会のためにすべてを捧げる　四
(ト)一生懸命に働いて金持になること　四
(チ)記入なし　一二

③あなたの趣味は何ですか。
読書五三、スポーツ四五、音楽四二、映画三三、写真一二、以下略

④あなたが一番尊敬するのは誰ですか。
両親二七、勤務先の上司六、二宮金次郎四、野口英世四、中学時代の先生四、ネール三、キュリー夫人三、リンカーン三

⑤現在特にしてみたいことは何ですか。
(イ)教養を高める　七七
(ロ)技術を身につける　八六
(ハ)趣味の勉強をする　五六
(ニ)スポーツ　一二、以下略

⑥両親にどんなことを望みますか
(イ)子供の将来の生活を考えて欲しい　六五
(ロ)子供の意見を聞く　四〇
(ハ)いつまでも長生きして欲しい　三五
以下略

⑦柏市にどんなことを望みますか
(イ)道路の整備　四三
(ロ)図書館、公民館の充実　三四
(ハ)都市計画の推進三三、以下略

⑧国にどんなことを望みますか。
(イ)国民生活の安定　二一
(ロ)三悪追放の徹底　二一
(ハ)平和国家の達成　一〇以下略

中学校卒業生のために

教育委員会では、東葛高校の定時制課程と共催で、各中学校毎に、三月卒業予定者の中、進学しない生徒の進路指導を行い働きながら学ぶ方法の説明を行つています。今年中学校を卒業する者は、千名以上おりますがその半数の約五百名は、四月から実社会で働くことになりますこれらの勤労青少年が、働らきながら学ぶ機会として、定時制高校や通信教育の外、青年学級があります。

今年の青年学級は、中学校を三月卒業した者だけの新しい学級もつくる予定です。これは、農業、家庭、商業などの組に分れて、一週に一日ずつ一年間開くものです。

大事な子供さんの将来のために、卒業後の勉強について、御父兄の方々の御協力をお願いいたします。くわしいことは学校と相談して、早目に御希望をお寄せ下さい。

図書館のお知らせ

市立図書館に新刊図書が入りました。今度入つたのは、筑摩書房の現代日本文学全集、辻善之助日本文化史、吉田茂回想十年、吉川英治新書大閤記など、百七十冊です。

図書館は、月曜日以外毎日午前十時から開いております。

青年活動振興大会迫る

恒例の青年活動振興大会は、三月二十一日（予定）柏中で開きます。午前中は、研究発表（農業、生活）、午後、芸能発表青年の主張の発表などを行う予定です。発表希望者は、地元の公民館又は青年団へ申込下さい

公民館だより

各地区婦人会の活動

▽柏婦人の会△
柏婦人の会では、一月二十九日（水）に柏聖で総会を開催いたしました。午後は、劇映画「ママの新婚旅行」の観賞と会員有志による舞踊、その他で終了致しました。

▽田中婦人会△
田中婦人会では、一月二十一日から二月二十八日までの間に、家庭学校を開いております。
内容は、料理実習、婦人衛生農業、作業衣の改善、講演会等を実施する予定です。

▽富勢婦人会△
富勢婦人会では、二月一日から二十二日までの間、毎土曜日に婦人学級を開催致します。
内容は、才一日の市長さんを囲んで話を聞く会を初めとして食生活衣生活について実施いたします。

▽土婦人会△
一月二十六日、連合婦人会と共催して、指導者講習会を開き、今後の計画を打合せました。二月三月は支部活動に重点を置いて、色々な行事を行い、本会では洗濯などの講習会を開きます

団体めぐり

今月は、詩吟愛好者の会「柏詠会」を紹介いたします。
この会は、高田勇さんと沢木操さんを師範に、毎週土曜日の夜七時から、柏文化服装学院で詩吟の練習を行つています。
現在の会員は、約三十名で、学生、店員、勤人を主としていますが、中学生や家庭の主婦も入つております。既に、昨秋発表会を開催いたしましたが、文化祭や市外の大会にも活躍しています。入会を歓迎いたします

矢島さんに農村事務所長賞

十余二青年団（4Hクラブ）の矢島テル子さんは、一月二十八九両日に開かれた東葛4Hクラブ実績発表大会で「私の労働日記」と題する研究発表を行い、農林改良事務所長賞を受けました。

メートル法

一日も早く慣れることが大切

昭和三十四年一月一日から実施

メートル法、何んとなくいつも耳にしている言葉で縁遠い言葉のようですが、メートル法は我が国でも明治一八年には、メートル法条約に加盟し大正一〇年には法律によつて採用することに決つていたのです。けれども不幸にも利用されず今日に至つてしまいました。

しかし、私達は日常どんなに物を計るということが多いことでしよう。赤ん坊が生れて体重計で体重を計りますと何Kg、何貫目、その着物を作るために鯨尺で何寸メートル、インチと同じ物を計るのに多種類の計量単位を用いております。これ等を統一するということはたゞ単位を一つにするというだけでなく、この雑然としているために起る不便と不合理さを無くすために是非必要となつてきます。それでは、なぜメートル法に統一するのかといいますと、まず単位の基礎がしつかりしているということ、それが科学や技術面とかたく結びついているということです。又一つの辺が、一〇センチメートルの「ます」に水が一杯入ると一リットルで目方にすると一キログラムというように、長さ、面積、質量の間が大変わかりやすいということ、その外十進法をとつていること、大から小までの名称が統一されていることなど、大変優れた面が多いからです。

このようなメートル法が、昭和三四年一月一日から完全に実施される訳ですが、急に行なおうとして出来るものではないので一日も早くメートル法に慣れ、自分のものにしていただきたいと思います

(15) 私は広報

です。柏市広報も才二十七号を数えるほどになりましたのは皆様方のあたゝかい御支援と御協力の賜と深く感謝いたしております。

柏市広報も漸く軌道に乗り、今後更にたゆまぬ努力と研究をつづけ、親しまれる広報、待たれる広報になるよう努力いたします。みなさまの協力をお願いして、こゝに広報の成長と活動を推進して市民の皆様の間に滲透し、皆様と共に私達の生活を明るく楽しく築きあげましよう。

市の人口動態

（33.1.末現在）

人口	55,030
世帯数	11,255
出生	112
死亡	33
転入	750
転出	361

新生活設計簡易保険 新加入運動について

郵政省主催のもとに一月十日から三月十日までの二ケ月間「新生活設計簡易保険新加入運動」が展開されております。この機会に、市民の皆さんが一段と節約に心掛け、将来の生活設計にふさわしい「簡易保険」への新加入運動に御協力の程を御願い致します。

尚当市としては簡易保険積立金運用資金から左記事業の為に融資されております。

都市計画街路事業	三〇万円
公営住宅建設費	六〇万円
公営住宅建設事業	二八〇万円
学校整備事業費	六八〇万円
公益質屋運転資金	一〇〇万円
計	一、一五〇万円

市政メモ

1月

1日　新年名刺交換会（会議室）
4日　市役所仕事始め。
　教育委員会議（会議室）
　建設計画基礎調査戸別調査の継続事務開始。
6日　才三小校長校葬委員会（会議室）
7日　柏市才一回正月マラソン。
　旭町納税貯蓄組合総会。
9日　選挙管理委員会（応接室）
　大室増反組合総会。
　手賀沼土地改良事業打合会
10日　土地改良事業期成同盟会結成総会（風早小学校）
11日　才八分団消防車入魂式（才一小）
13日　才三小校長校葬。
　南柏才一土地区画整理評議委員会（公舎）
15日　成人式（柏中校堂）
16日　人権擁護相談所開設。
18日　慰霊碑建設委員会。
　農業振興諸問題についての懇談会。
21日　建設委員協議会（会議室）
23日　臨時市議会招集（会議室—27日迄）
25日　市議会決算特別委員会。
27日　市議会決算特別委員会（会議室）
　建設委員会。
28日　消防出初式（柏中学校庭）
　才一地域農業振興計画基礎調査開始。
29日　工場適地調査（中割名寄）
30日　農林統計事務打合会。
31日　工場適地調査（木崎台）
　農林統計事務打合会。

お知らせ

所得税の
確定申告と納税は
2月16日から
3月15日まで
早めに心がけて
完納しましよう
＝松戸税務署＝

予防注射の日程

小学校入学児童の保護者の方へ

お子様の入学おめでとうございます、お子様が新しい集団生活に入る前に以前受けた予防注射の免疫を再び強化しておかねばなりません。そこで種痘とジフテリヤの予防注射を次の日程で行う予定ですから必ずお受け下さい都合で入学する学校へ行けない時は、最寄の学校で受けてもさしつかへありません。

柏一小で	種　二月二十六日	ジ　三月三日
柏二小で	〃　二月二十六日	〃　三月三日
柏三小で	〃　二月二十八日	〃　三月四日
柏四小で	〃　二月二十八日	〃　三月四日
柏五小で	〃　三月五日	〃　三月十日
土小で	〃　三月五日	〃　三月十日
光ケ丘小で	〃　三月六日	〃　三月十一日
田中小で	〃　三月六日	〃　三月十一日
田北小で	〃　三月七日	〃　三月十二日
富勢小で	〃　三月七日	〃　三月十二日

時間は各場所とも午後一時より三時までとする。
追つて該当者には、個人通知をさしあげます。

成人学校が開かれます

公民館では、皆さんの学校、成人学校を次のように開きます。どなたでも入れますから、お誘い合せてお申込下さい。

◎期間　三月八日から五週間
◎回数　週一回又は二回
◎時刻　昼　一時半——三時半
　夜　七時——九時
◎申込　三月三日までに市役所
　内教育委員会へ
◎科目　左の中申込の多いもの

料理才一（水曜昼）、料理才二（日曜昼）、洋裁初等（火土曜夜）、洋裁中等（火、土曜昼）、手芸（月、金曜昼）、自動車技術（火、土曜夜）、孔版技術（木曜夜）、簿記（火、土曜夜）、写真（火曜夜）、ペン習字（火、土曜夜）、俳句市民（土曜夜）、書道（月、金曜夜）、詩吟（月、金曜夜）